

# 育児

# ファミリー サポート 便り

発行年月  
平成30年12月  
第44号

発行者：伊丹市育児ファミリー・サポート・センター

育児ファミリー・サポート・センターは、「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」がお互いに会員になって、子育て中の人や働く人の家庭を地域で支えるシステムです。



## 平成30年度 必須講座

申込随時

厚生労働省より通知があり、預かりを行うためには乳幼児の緊急救命講習会（AED、心肺蘇生等）の受講が必須となりました。伊丹市では、下記のように緊急救命を含む 8 講座を必須講座としております。よろしくお願いいたします。

— 第2回目 —

平成31年1月16日(水)	11:10~12:40	安全・事故 乳幼児の緊急救命講習会
● 場所	いたみいきいきプラザ3階 会議室1	● 講師 神戸救急グループ
平成31年1月19日(土)	9:30~11:00	心の発達とその問題 こどもの障がいの種類や特徴について
● 場所	いたみいきいきプラザ3階 会議室1	● 講師 市こども発達支援センター 言語聴覚士
平成31年1月19日(土)	11:10~12:40	心の発達とその問題 障がいのあるこどもとの関わり方
● 場所	いたみいきいきプラザ3階 会議室1	● 講師 市こども発達支援センター 言語聴覚士
平成31年1月23日(水)	9:30~11:00	子育て支援サービスを提供するために 実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について
● 場所	いたみいきいきプラザ3階 会議室1	● 講師 育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー
平成31年1月23日(水)	11:10~12:40	安全・事故 事故対策講習会
● 場所	いたみいきいきプラザ3階 会議室1	● 講師 NPO法人 C・キッズ・ネットワーク
平成31年1月26日(土)	11:10~12:40	保育の心 育児支援者としての心構えと親子との関わり方について
● 場所	いたみいきいきプラザ3階 会議室1	● 講師 市保育課 保育士
平成31年1月30日(水)	9:30~11:00	こどもの世話 こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり
● 場所	いたみいきいきプラザ3階 会議室1	● 講師 市健康政策課 保健師
平成31年1月30日(水)	11:10~12:40	こどもの栄養と食生活 こどもの栄養と食生活
● 場所	いたみいきいきプラザ3階 会議室1	● 講師 市健康政策課 栄養士

▶ 要申込み ▶ 参加費は無料 ▶ 一時保育あり(1歳以上就学前まで) ▶ 託児料(1人 300円 2人目以降 150円)

※事前に事務局にご連絡ください

# 講座の報告

30名の方に受講いただき、その内9名が全受講されましたので、修了証をお渡しいたしました。


## 必須講座(第1回目)

平成30年  
6月23日(土)

### 安全・事故「事故対策講習会」

講師 NPO法人C・キッズ・ネットワーク 酒井 富美子 さん

「不慮の事故」は、周りの大人がきちんと対処をすれば防げるということを様々な事例をまじえながら、教えていただきました。視野体験を通して、こどもの視野の狭さにみなさん驚かれています。




平成30年  
6月24日(日)

### こどもの世話 「こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」

講師 市健康政策課 保健師 西島 春花 さん

こどもの年齢や発達によって起こりうる事故とその予防法について教えていただきました。今の育児グッズや母子手帳を実際に見せていただき、今と昔の子育て方法の違いを知ることもできました。




平成30年  
6月24日(日)

### こどもの栄養と食生活 「こどもの栄養と食生活」

講師 市健康政策課 栄養士 前田 清香 さん

様々な食中毒があること、食中毒の防ぎ方、アレルギーについて詳しく教えていただきました。「ちょっとした意識で防ぐことができる」という言葉に、みなさん大きくうなずかれています。




平成30年  
6月30日(土)

### 保育の心 「育児支援者としての心構えと親子の関わり方」

講師 市保育課 桜台保育所 副所長 浦山 美樹 さん

子育てを取り巻く現状のお話を聞き、保護者との関係づくりやこどもとのかわり方、サポーターとしての心構えを教えてくださいました。




平成30年  
6月30日(土)

### 子育て支援サービスを提供するために 「実際に活動を行うにあたっての 手順やルール、注意事項について」

講師 育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー

ファミリーサポートの制度や援助内容、補償保険についてお話させていただきました。「こんなときどうしますか?」のコーナーでは、グループで話しあってもらいました。今回より、事例を参考にしながら料金計算についてのワークも取り入れてみました。




平成30年  
7月1日(日)

### 心の発達とその問題 「こどもの障がいの種類や特徴について」

講師 市こども発達支援センター 言語聴覚士 吉村 道乃 さん

こどもの障がいの種類や特徴、伊丹市の取り組みを具体的にとてもわかりやすく教えていただきました。先生から「ファミサポは、親子にとって地域と関わる大切な場所なんですよ」と言っていました。




平成30年  
7月1日(日)

### 心の発達とその問題 「障がいのあるこどもとの関わり方」

講師 市こども発達支援センター 言語聴覚士 吉村 道乃 さん

様々な事例やワークをまじえながら、それぞれのこどもにあわせた支援方法(道具や設備・手助けを、必要な時に必要なだけ用意する)を考えるということを学びました。簡潔に、わかりやすく、具体的に伝えることの大切さも教えていただきました。




平成30年  
7月7日(土)

### 安全・事故「応急手当講習会」

講師 西消防署 職員

心肺蘇生法やAEDの使い方を、乳児・幼児・成人の人形を用いて、実際に体験し、教えていただきました。積極的に質問もされて、みなさん真剣な表情でした。「1回限りで終わるのではなく、これからも機会があれば何回でも実習をしてくださいね」と声をかけていただきました。



## 平成30年度 スキルアップ講座のお知らせ

相手に寄り添う子育て支援とは 日時 平成31年3月6日(水) 10:00~12:00(予定)

講師 Felien(フェリアン) 津村 薫さん 定員 30人(先着順)

電話受付 子育て支援センター TEL 771-1152

申込み 詳細は広報にてお知らせいたします ※子育て支援センターと共催





## スキルアップ講座

### みんなで子育て 私にだってできること

日時 平成30年6月13日(水)

講師 mottoひょうご 栗木 剛さん

みなさんから「もっと先生のお話を聞きたかった」「弱音を吐いて、頼りながら頑張ります」「多くの人に先生の話聞いてほしい」「愛ある言葉でも相手を傷つける可能性があることを心に留めておきます」などの声が届きました。先生から「子育てを応援している人がこんなにたくさんいるんだよ」の言葉に、子育てで悩んでいる方たちの大きな力になったと思います。



### こどもと向きあうために (あそび編)

日時 平成30年9月9日(日)

講師 NPO法人 生涯学習サポート兵庫 榎本 英樹さん

あそびの大切さやあそぶ時の心構えやコツ、こどもの心をパッとひらぐ方法、身近なものがおもちゃになることを学びました。身近なものを使って実際にあそんだり、年齢に関係なく楽しめるゲームなど体験しました。初対面同士の参加者のみなさんもすぐに打ち解け、部屋中に笑い声が響いていました。



### こどもと向きあうために (かかわり編)

日時 平成30年9月19日(水)

講師 NPO法人 生涯学習サポート兵庫 榎本 英樹さん

こどもや大人と関わる時の心構えやコミュニケーションの取り方を学びました。榎本先生自身の子育て経験や活動体験の話もしてくださり、大人の接し方を少し変えるだけで、こどもの反応は変わるということを教わりました。



### 大人から子ども達へ思いを伝える絵本

日時 平成30年10月20日(土)

講師 NPO法人 絵本で子育てセンター 羽石 憲子さん

羽石先生の絵本を読む優しい声に部屋全体が穏やかな雰囲気につつまれていました。「日常生活の中でできないことを、絵本を読んでもらうことによって体験することができ、こどもたちの心を豊かにできる」と教えていただきました。



## Q&A

今後も安全で安心な援助活動がおこなわれますようセンターも取り組んでまいります。ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。



協力会員さんに直接依頼をしてもいいでしょうか…

お顔合わせが済んでいる協力会員さんには直接ご相談していただいても結構です。保険の手続きがありますので、協力会員さんに受けていただけたら、依頼会員さんからセンターに受付の連絡を事前に入れてください。(留守電OKです)



センターから紹介のあった依頼会員さんからお顔合わせの相談の連絡がないのですが、私(協力会員)から連絡しないといけないのでしょうか…

お顔合わせのお電話は依頼会員さんから協力会員さんに入れていただくようにお伝えしております。紹介した依頼会員さんからいまだ連絡のない方はセンターまでお知らせください。



事務局より  
お願い



## 全会員のみなさんへ

★今年度は、地震や大型の台風が多く発生しましたが、ご無事でしたでしょうか。

事務局は台風21号により事務所も停電となり、電話が通じない状況になりました。翌日には復旧はいたしましたが、ご迷惑をおかけいたしました。今後同じように業務時間中にセンターの電話が通じない場合や長い間話し中となっている場合は、

子育て支援センター〈771-1152〉か  
子育て支援課(市役所)〈784-8030〉  
までご連絡ください。

★事前打ち合わせは、お互い初対面なのでとてもドキドキされながら迎えられることと思います。地域に住む方との新たな出会いとなりますので、お互いマナーを守りながらお会いになっていただきますよう、よろしくお願いたします。心温まる出会いとなりますよう祈っております。

## 支援いただく会員のみなさんへ

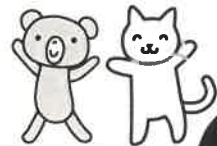
★依頼会員さんの許可なく預かっているお子さんの写真を撮らないようにしてください。また、許可をもらっていても写真の取り扱い(SNSにあげるなど)には十分気をつけるようお願いいたします。

★乳幼児突然死症候群(SIDS)に関して、厚生労働省より注意喚起がありました。

お子さんがおひるねをした時「寝てしまったから、静かに寝かせておこう」とその場を離れたりしていませんか?乳幼児突然死は睡眠中に起きています。その場を離れず寝ている間もお子さんの様子を見守り、定期的に確認するようにしてください。

予防法は確立していませんが、以下の点に注意することで発症率が低くなるというデータがあります。

※SIDSは、何の予兆や既往歴もないまま乳幼児が死に至る原因のわからない病気で、窒息などの事故とは異なります。



確認  
ポイント

### ●呼吸や顔色に注意!

定期的にお子さんの呼吸や顔色・体温を確認しましょう。**1歳未満は5分おき、1歳以上は10分おき**くらいを目安にお子さんの様子を確認してください。

### ●お子さんの寝方に注意!

うつぶせ寝になっていませんか。  
仰向けで寝かせるようにしましょう。



会員  
随時募集中!!

年々援助の輪が広がっておりますが、中にはまだ育児ファミリー・サポート・センター事業をご存知ない方もいらっしゃると思います。今お近くに、支援が必要な方、また、今なら支援ができるという方がいらっしゃいましたら、このお便りと共にご紹介くださればありがたく思います。よろしくお願いたします。

## お申し込み・お問い合わせ先

### 伊丹市育児ファミリー・サポート・センター事務局

〒664-0014 伊丹市広畑3丁目1番地  
伊丹市立地域福祉総合センター1階  
(いたみいききプラザ)  
TEL・FAX 072-772-4560

開館時間 午前9時～午後5時まで

休館日 日・祝日、年末年始

交通機関 JR伊丹駅または阪急伊丹駅から市バス昆陽里行きで三師団・交通局前バス停下車すぐ

